



臨床医学はどの分野も幅広く、奥行きも深いものがあります。初期研修の間に習得できることには限りがあると思いますが、間口を広げるだけでなく、時にはそれぞれの分野の奥行きも確かめてみてください。徳島大学病院にはどの分野にも多くの先輩がいますので皆さんの道案内をしてくれることでしょう。その先輩たちに単について行くのではなく、いつかは追い越すぞという気概をもって勉強してください。そこに自分が将来目指すべき道が見えてくるはず。若者が道を究めるには特別な才能は必要ありません。裏付けのない自信を持つことができるのが若者の特権です。地道な不断の努力も大切ですが、目の前の小さな目標だけを見つめていては道が開けません。簡単には実現しそうにもない大きな夢を持つことを心がけてください。徳島大学病院での臨床研修が皆さんにとって有意義なものになることを期待します。

病院長 安井 夏生



平成25年度の臨床研修が始まりました。

平成25年4月1日より、新しく平成25年度の卒後臨床研修が始まりました。今年度は17名の1年次研修医を迎え、卒後臨床研修センターもフレッシュな空気に包まれています。2年次研修医も早速1年次研修医にアドバイスしたり、相談に乗ったりと先輩として逞しくなった姿を見せてくれています。今年度のプログラムも、各研修医それぞれの希望に沿うような“オーダーメイド”のプログラムとなっているため、誰一人として同じプログラムはありません。

今年も研修医向けのオリエンテーションを行いました。各部署からの講義に加えて、採血・点滴実習など研修にすぐに役立つトレーニングも実施しました。今年も毎年好評を得ている「コミュニケーション研修」や「安全器材の取り扱い」など新人看護師と合同でオリエンテーションを行いました。これにより研修医－看護師間の結びつきが強くなり、病棟での研修が円滑に行われることを期待しています。

4月4日には「徳島大学病院新人研修医・看護師合同歓迎会」を徳島市内のホテルで開催し、病院長をはじめ、各診療科指導医、看護部長、看護師長等にも御参加いただき、職種を超えての親交を深めることができました。参加者は総勢199名にのほり大盛況の会となりました。

また、4月6日には徳島県医師会館で行われた徳島県医師会主催の「新人研修医の集い」に参加し、県内の他の病院で研修を開始した研修医たちとも交流を深め、懇親会では川島徳島県医師会会長、齋藤徳島県副知事からも激励のお言葉をいただきました。

オリエンテーションが終わり、すでに各診療科での研修がスタートしています。早速それぞれの診療科で熱のこもったご指導をいただき、研修医たちも懸命に研修に励んでいます。今後とも研修医たちを熱く、時には温かくご指導いただきますようお願い致します。

平成26年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

平成26年度よりプログラムがリニューアルされます！

徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

2014年 [平成26年]												2015年 [平成27年]												2016年 [平成28年]		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
内科						救急			選択必修	選択(※)	地域	選択														
6ヵ月						3ヵ月			2ヵ月	1ヵ月	1ヵ月	11ヵ月														

(※)到達目標の達成に必要な研修科を選択



徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

- 3月20日(水・祝) 中国四国地区医師臨床研修病院合同説明会(岡山コンベンションホール)
- 6月8日(土) 平成26年度 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学 大塚講堂)
- 6月30日(日) レジナビフェアin大阪(インテックス大阪)
- 7月14日(日) レジナビフェアin東京(東京ビッグサイト)

平成26年度のプログラムより、前年度までの3病院連携プログラムとBonVoyageプログラムが統合され「AWAすだちプログラム」として生まれ変わります。このプログラム名には「徳島名産のすだちのようにいつまでも瑞々しく、どのシーンでも喜ばれ必要とされるような医師になって2年間の研修を終え『巣立ち』の時を迎えて欲しい」という願いが込められています。このプログラムも徳島大学病院と県内、四国内のみならず全国の研修病院で研修することができる、大変柔軟性に富んだプログラムになっています。協力病院について詳細はホームページをご覧ください。

パターン1 AWAすだちプログラム

徳島大学病院と県内や四国内のみならず全国の協力病院とのコラボレーションが可能なプログラムです。どの病院でどれくらいの期間、研修を行うかについても研修医の希望に沿えるよう柔軟な対応が可能です。後期研修・専門研修への懸け橋としての役割も担っています。

パターン2 産婦人科研修プログラム

将来、産婦人科医を目指す研修医を対象とした、産婦人科医療の基本的事項を研修できるプログラムです。

パターン3 小児科研修プログラム

将来、小児科医を目指す研修医を対象に高度先進医療から一般小児科、小児救急、新生児医療など幅広い小児医療について専門的なレベルの研修が行えるプログラムです。

大塚講堂が新しくなりました！

昨年より整備事業が進められていた大塚講堂が、平成25年4月1日にリニューアルオープンしました。

新しくなったメインホールは655人を収容可能で、最前列には車いす用のスペースも設けられています。2Fには108人収容の小ホールが2室設けられており、間仕切りを撤去することで216名収容のホールとしても使用可能です。また、各階の東側にあるホワイエは全面ガラス張りの開放的なスペースで、展示ボードが設置されており、

ポスター会場としても利用できます。メインホールの様子の小ホールやホワイエ等でも見られるように、モニターテレビやプロジェクターも設置されています。

その他、ゲストルームや控室、エレベーター、多目的トイレや車いす用の駐車場、屋外スロープなどが設置されており、バリアフリーにも配慮がされた建物になっています。

今年の徳島大学病院のプログラム説明会は、この新しくなった大塚講堂で初期研修のみならず専門医研修に関する説明会も兼ねて実施する予定です。新しくなった大塚講堂を是非見にお越しください。



研修医紹介

1

1年目研修医

雲財 崇



積極的に、元気よく、患者さん第一に頑張っております。ご指導のほど、宜しくお願い致します。

森 輝実



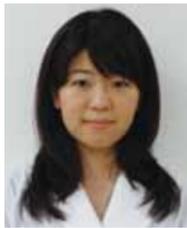
生まれ育った徳島で楽しい研修生活を過ごしたいです。一日一日を大切に、実りある2年間となるよう頑張ります。

新井 悠太



いつものんびりペースとしていますが、みなさんのご指導をしっかり受け止め、少しでも早く役立つ医師になれるようがんばります。

生田 奈央



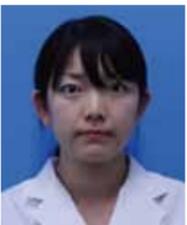
地元である徳島県で医療に携わることができて、大変嬉しく思います。

乾 友浩



まだまだ未熟ですが、徳島の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。

梅原 佳那子



故郷徳島に戻って参りました。多々迷惑をお掛けすると思いますが、ご指導よろしくお願い致します。

玉置 俊輔



わからない事だらけですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

津保 友香



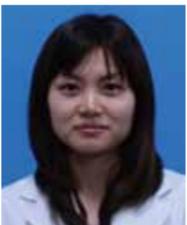
がんばって色々なことに挑戦していきたいと思います。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い致します。

長瀬 紗季



何事も真摯に受け止め、前向きな姿勢で頑張りたいと思います。ご指導どうぞよろしくお願い致します。

中林 えみ



何事にも積極的に取り組んでいこうと思います。ご指導よろしくお願い致します。

新居 徹



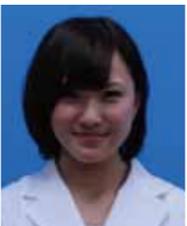
医師としても社会人としても未熟ですが、患者さんから信頼される医師を目指して日々精進していきます。

森本 佳奈



まだまだ分からないことだらけですが、日々成長出来るよう努力したいと思います。ご指導よろしくお願い致します。

山本 聖子



新しい環境での研修なので色々ご迷惑をおかけすると思いますがご指導よろしくお願い致します。

猪子 未希

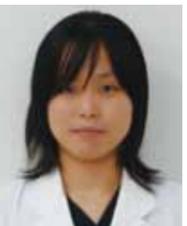


打たれ強く、小さな成長を積み重ねて、人の役に立つ医師になりたいです。

2

2年目研修医

今田 久美子



ご迷惑をお掛けしますが、精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

植村 勇太



今年は昨年以上に一日一日を大切に、新しいことを吸収していきたいと思っています。よろしくお願い致します。

小瀨 祐樹



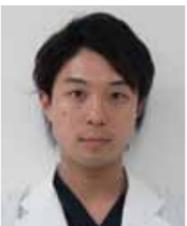
日赤和歌山での研修を終え、2月から徳島大学病院へ戻ってきました。よろしくお願い致します。

幸田 舞子



はや2年目に入りましたが、少しでも患者さんのお役に立てるよう、一日一日、一つ一つを大切にに取り組んで行きたいと思っています。

佐埜 弘樹



研修医として1年が過ぎましたが、まだまだ学ぶことが多い毎日を送っています。初心を忘れず、日々の診療に取り組みます。

谷口 若葉



新しく1年目の方々が来られて、研修センターが華やかになりました。エネルギーを頂きながら頑張ります。

松田 華子



いよいよ2年目になりました。悔いのない研修生活を送るため日々努力していきます。

松本 亮祐



1年目は県中で内科、救急を研修してきました。2年目も大学で充実した研修をしたいと考えております。

湊 亮詠



一年間研修させて頂き大変お世話になりました。今年も頑張っていきますので、またよろしくお願い致します。

山崎 裕行



患者さんをしっかりとみて、一人前の医師になれるよう努力していきます。

山中 森晶



毎日大切にして充実した研修を行いたいと思います。よろしくお願い致します。

乾 宏彰



まだまだ至らない点が多々ありますが、よりよい医療を提供できるように日々精進していきたいと思っています。

小瀨 里江



初心を忘れず、日々の診療を大切に頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



先輩からのメッセージ

初期研修を終えて

徳島大学病院 形成外科・美容外科 医員 毛山 剛

(平成23-24年徳島大学病院プログラムで研修)

2年間の初期研修は、とても濃密で有意義なものでした。

高知県出身で、岡山の医科大学を卒業した私ですが、初期研修の2年間は、徳島大学病院での卒後臨床研修プログラムを選ばせていただきました。それは、将来実家の高知県で父親の後を継いで形成外科医として働きたいという目標があり、そのためには徳島大学の形成外科に入局するのがベストだと考えたからです。

知り合いの全くない徳島でしたが、研修病院の見学に来た時から大学の先生方はとても良くしてくださりました。研修の雰囲気もとても良く、徳島大学病院で研修することを決めるのにそう時間はかかりませんでした。

私のプログラムは、1年目の10カ月を大学病

院、次の8カ月を徳島県立中央病院で過ごし、最後の6カ月をまた大学病院で研修するというものでした。希望科である形成外科から始まり、内科・麻酔科・皮膚科・救急・外科などを経て、最後の5カ月は再び大学の形成外科で研修する予定でしたが、専門の科に進む前にもっと関連のある科の勉強をしたいと思い、もう一度4カ月皮膚科で研修することを選びました。今思えば、この様に比較的自由に研修科を選択できるのも徳島大学病院の研修プログラムの魅力ではないかと思っています。また、初期研修の2年間でたくさんの素晴らしい同期に出会えることができたのは、本当に嬉しいことでした。

今私は、形成外科医として毎日とても充実した日々を送っています。今の私が、2年前に比べて少し自信を持って働くことができています。これは、この2年間の初期研修と、それを支えてくださった方々のおかげだと思っています。

これから初期研修を始めるみなさん、2年間は辛いこともたくさんあると思いますが、2年後に後悔することの無いよう頑張ってください。応援しています。

編集後記

新年度の研修がスタートしました。

例年ですが、つい先日2年間の研修を終えた研修医たちを送り出したかと思うと、また新しく研修を開始する研修医たちを迎えることとなりました。めまぐるしく移ろう季節に戸惑いを感じることもありますが、今年も1年、研修医たちの成長を一番近くで見守ることができる幸せを噛みしめながら、サポートにあたりたいと思います。卒後臨床研修に関すること、このニュースレターに関することなど、何かありましたらご連絡ください。(W)

■ ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@jim.tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター

Tel: 088-633-9359 または 9976 Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp



▲写真左が執筆者